

本事例の基礎データ

カテゴリ	情報モラルを育成する指導方法		
学校種	中学校	事例提供者	墨田区立錦糸中学校
学年	2年生	教科等	特別活動
単元名	情報モラル		
主な ICT 機器	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad (キーボード付き iOS 機/一人1台) ・ 電子黒板 		
授業の概要	<p>・ ユニクロ・ジーユーの“届けよう服のチカラ”プロジェクト特別授業で学んだ世界で洋服を着られず困っている難民の子供たちを救うため、洋服の回収を呼びかける記事を作成する。この記事は、情報発信サービス note に掲載し、全校生徒、保護者、地域、小学生、幼児に見てもらうことに加え、note 利用者であれば誰も見られるものになる。記事の作成では、まず記事の見出しとなるサムネイルを作成する。サムネイルは keynote で作成する。中身の記事は、ロイロノート・スクールで文章を作成する。Keynote で作成したサムネイルを、ロイロノート・スクールに書き出し、記事とつなげて共有する。お互いに見せ合い、改善点等を指摘し合う。指摘された内容を元に、記事を修正し完成させる。世界で困っている人を救うためには、個人ではなく多くの人を巻き込む必要がある。そのために、SNS を効果的に活用し、適切な情報を発信する力を身に付ける授業である。</p>		
「情報活用能力 #東京モデル」の位置付け	情報活用	STEP 4	・ 目的に応じて、チャット、電子掲示板、web、SNS などを適切に利用できる

本事例における教育の情報化について

ポイント 1	<p>著作権を守ってインターネットを使用する</p> <p>サムネイルに使用したい画像をインターネットで検索する時に、Google 画像検索のクリエイティブ・コモンズ・ライセンスにチェックを入れ、使用可能な画像を検索する。</p>
ポイント 2	<p>ロイロノート・スクールで記事を共有し助言し合う</p> <p>相手の記事の良いところ、改善点を考えることで、見る側の立場で記事を見直す視点をもつ事ができる。気付いたこと、指摘されたことを取り入れ、より良い記事を作成する修正力が身に付く。</p>
ポイント 3	<p>見せる対象を意識することで情報モラルが身に付く</p> <p>全校生徒、保護者、地域、小学生、幼児のいずれかに見てもらうことを意識して作成するため、相手に分かりやすい言葉や、ふさわしい内容、適切な言葉遣いを自ら進んで使おうとする。</p>

本単元（題材）における指導の流れ

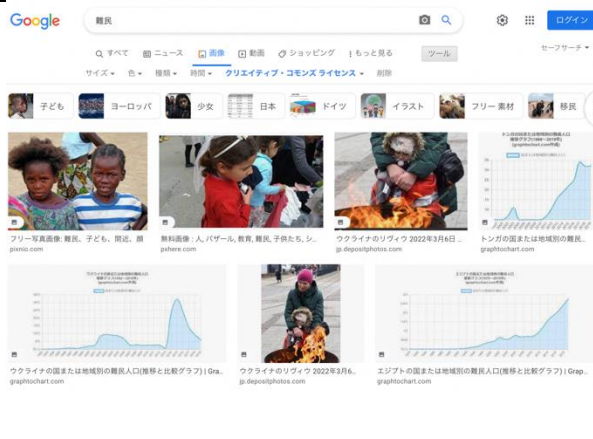
時間	●主な学習活動 ・生徒の活動	○支援・留意点 ☆評価
1 (本時)	<p>●洋服の回収を呼びかける記事を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全校生徒」、「保護者・地域」、「小学生」、「幼児」の誰を対象にした記事を作成するか考える。 ・インターネット上にある画像のうち、著作権を考え、使用可能な画像を使用する。 ・見せる対象にとって興味をもちやすく、分かりやすい内容の記事を作成する。 ・作成した記事を見合い、助言し合う。 ・助言された内容を基に、記事を修正する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○難民の状況、ユニクロ・ジーユーが行っている活動を多くの人に伝え、服の回収活動に協力してくれる人を増やすことがねらいであることを伝える。 ○画像検索は、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスを使用するよう助言する。 ○見せる対象を明確にして、記事を作成するよう助言する。 ☆見せる対象を意識し、適切な言葉や情報を使い、分かりやすい内容にまとめることができる。【知識・技能】

本時の流れ

段階	●主な学習活動 ・生徒の活動	○支援・留意点 ☆評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニクロ・ジーユーによる“届けよう服のチカラ”プロジェクト特別授業で学んだ、難民のこと、服を必要としている人がいることを確認する。 ・本時の目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別授業で使用したスライドの一部を使用し、内容を想起させる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ●サムネイルを作成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・【ポイント1】 ・記事の見出しとなるサムネイルを作成する。タイトルと最小限の必要な情報を入れる。 ・作成したサムネイルをロイロノート・スクールに作成した対象別の提出BOXに提出する。 ●記事を作成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・【ポイント3】 ・ロイロノート・スクールで記事を作成する。 ・1ページ目をサムネイル、2ページ目以降を記事として提出BOXに提出する。 ●班で発表し、助言し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・【ポイント2】 ・自分の記事を見せながら、対象者、工夫した点を伝える。 ・他の人が作成した記事に助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○見せる対象にとって興味を引くもの、分かりやすいものを作成させる。 ○著作権を意識して作成させる。 ☆見せる対象を意識し、適切な言葉や情報を使い、分かりやすい内容にまとめることができる。【思考・判断・表現】
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●記事を修正する。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・【ポイント2】 ・助言された内容を元に記事を修正し直し再提出する。 	

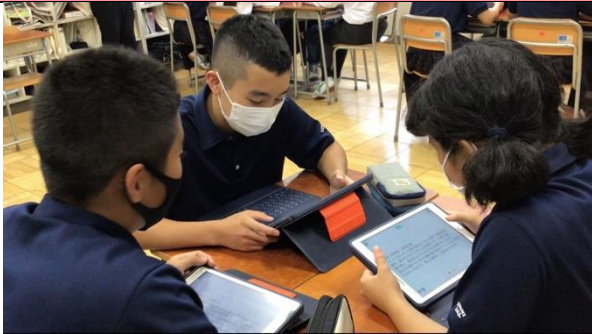
授業の実際

【ポイント1】



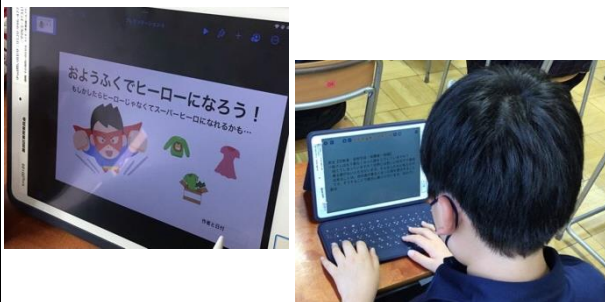
クリエイティブ・コモンズ・ライセンスを使用することで著作権のルールを守って画像を使用することができる。インターネット上の画像には著作権があることへの理解を深め、検索した画像が使用できるものなのかを確認する意識を養うことができる。

【ポイント2】



評価し合う作業を行うことで、見る側の立場で自分の記事を見直し、また、助言されたことも参考にし、記事をより良いものにしようとする力が身に付く。

【ポイント3】



見る対象を明確にすることで、レイアウトや説明する言葉、言葉遣いを工夫することができる。見る側が興味をもちやすく、分かりやすい記事を作成し、SNS をより効果的に使用するスキルが身に付く。

今後に向けて

- 今回の授業で作成した記事は note に掲載して note 利用者に見てもらっただけであるが、今後は、コメント機能も利用し記事を見た人から評価をもらい、次の活動に生かせるようにしていきたい。
- 今回の授業では、サムネイルの作成は Keynote、記事の作成はロイロノート・スクールと限定したが、今後は、生徒自身がアプリケーションを選んだり、動画や音声、グラフなど記事の形態も自分で考えたりするなど、生徒の想像力を発揮できる創作活動を進めたい。